

職場における感染症対策チェックシート

- このチェックリストは、感染症対策を実施するにあたって、まず職場の状況をご確認いただくことを目的としたものです。
- 業種や規模等により職場の状況は多種多様であるため、該当しない項目もあるとは思いますが、「いいえ」と回答した項目は感染症リスクの高くなっている箇所だをご認識いただければと思います。

チェック項目	回答			参考事項など
	はい	いいえ	該当なし	
0 パンデミックを想定した業務継続計画（BCP）を作成している。	☐	☐	☐	・パンデミックといえど感染症である以上は、手洗いやマスク着用、適切な空気環境の保持、清掃時の消毒等の普段の対策が基本となります。 ・よって、感染症に関するBCPを有効なものにするには、パンデミック時の対策の前提となる普段の対策についても整理・記載しておくことが重要です。
1 室内環境の整備				
適切な湿度の維持や、換気により適切な空気環境を確保している。	☐	☐	☐	・室内の湿度については40～70%が適切（労働衛生基準による）とされています。 ・また、空調や機械換気を利用している場合は、定期的な点検や清掃を行い、常に適切な環境を保持できるようにしておくことが重要です。 ・なお、冷却塔を利用している設備については、レジオネラ菌が発生する可能性があるため、室内設備のみでなく冷却塔の清掃も必要です。 (参考) レジオネラ注意喚起 HP レジオネラ症 Legionellosis 東京都感染症情報センター

	不特定多数が触れる箇所や利用する場所は、定期的に消毒を行っている。 (例：ドアノブや電気スイッチ、トイレなど)	☐	☐	☐	・不特定多数の人が触れるものは感染を媒介する可能性が高いです。 ・唾液や排せつ物には病原体が含まれていることがあり、トイレや洗面台などは感染を媒介しやすい場所です。
2 職場内の体制					
	体調不良時は無理な出勤は控え、安心して休暇がとれるような業務のサポート体制を構築している。	☐	☐	☐	・感染症にかかった従業員がいた場合、そこから職場内に感染が拡大する恐れがあります。 ・感染症の悪影響を最低限に抑えるためにも、相互のサポート体制を構築することが重要です。
	リモートワークや時差出勤を導入するなど、柔軟な勤務体制を整備している。	☐	☐	☐	・感染流行を防ぐには、人同士の接触を避けることが最も効果的です。 ・ただし、実際にどのようなものをどういった方法で導入するかについては、業務内容ごとに平時からの検討・検証の必要があります。
3 従業員への呼びかけ					
	感染症流行期には、注意喚起のための周知をしている。	☐	☐	☐	・常に注意を促し続ける必要はありませんが、感染症が流行り始めると日常のなんでもない行動でも、大きなリスク要因になることがあります。 ・感染症の流行情報等には普段から注意しておき、流行が報じられ始めたら職場内への注意喚起を行うことが望ましいです。
	対策実施の実効性向上を目的とした感染症についての研修等を行っている。	☐	☐	☐	・職場での感染症流行を防ぐためには、各従業員ひとりひとりに正しい対策を実施してもらうことが欠かせません。 ・そのためには、職場で流行する感染症とその対策を、従業員の皆様に知っていただくことが重要です。

	従業員が体調不良の場合は、帰宅・休暇の取得や早期の受診を促している。	☐	☐	☐	・上述のとおり、感染症にかかった従業員がいた場合、そこから職場内に感染が拡大する恐れがあります。 ・従業員の方の中には、体調よりも仕事を優先する方がいらっしゃるかもしれませんが、ご本人のためにも職場のためにも適切な療養や受診を、促すことが重要です。
--	------------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---

○ 如何だったでしょうか。最初にも述べた通り、本チェックシートは職場内の感染症対策状況を確認するものであり、回答の如何に関わらず何かをしなければならぬというものではありません。

○ ただ、これから感染症対策について改めて検討・実施をお考えであるならば、本シートでの確認結果をご参考いただければ幸いです。

○ 本事業「職場ではじめる！感染症対応力向上プロジェクト」では、**従業員の方向けの研修や周知物として、適宜、活用できる「従業員向け感染症対策資料」を作成**しましたので、是非ダウンロードしてご活用ください。

・職域プロジェクト「従業員向け感染症対策資料」ダウンロードページURL：<https://www.tokyo-cci.or.jp/kenkoikei-club/kansensho-pj/knowledge>

○ また、パンデミックを見据えつつ、平常時の対策の検討・整理にも役立つ「感染症BCP作成ツール」を無料で配布しています。下記URLにアクセスしていただき、「感染症BCP作成ツール」をダウンロード・ご活用いただければ幸いです。

・職域プロジェクト「感染症BCP作成ツール」ダウンロードページURL：<https://www.tokyo-cci.or.jp/kenkoikei-club/kansensho-pj/bcp>

○ 上記、各コンテンツ等を活用いただくことで、企業に必要な感染症対策を実施できます。さらに、これらの感染症対策取組コンテンツの**各コースの申込企業、基準達成企業には、企業名が企業ホームページのリンクとともに、東京都ホームページに掲載**されます。**「感染症予防対策」は、健康経営優良法人認定制度の評価項目の1つです。**

参考：職場で始める！感染症対応力向上プロジェクト 協力企業一覧 [「https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/jigyosha/project/kyoryoku」](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/jigyosha/project/kyoryoku)

職場で始める！感染症対応力向上プロジェクト 達成企業一覧 [「https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/jigyosha/project/tassei」](https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/jigyosha/project/tassei)